

先ッ石梯曉軍砲兵隊長、統一指揮下
ニ入り突撃支援射撃ヲ實施シタル後隨
時旅團、第一線進出ニ方リ機ヲ失セス歩兵
戦斗ニ協同シ得ル如ク準備ス
三第一線梯團ハ機動後第一線攻撃部隊トス
四第二梯團ハ旧先遣隊ト共ニ第二線攻撃部
隊トナル

五第三梯團ハ予備トス

六工兵隊ハ之日迄ニ砲兵隊ノ陣地進入ヲ援助

シタル後機動タメ主要道路ノ補修
任スルト共ニ旅團司令部ノ位置附近
在リテ雨後、戦斗ヲ準備ス
七旅團長ハ之日先ッ首星城跡軍司
令部ニ前進シ雨後戦況進展ニ
伴ヒ棚原附近ニ前進ス

第五 敵砲爆車封殺並ニ防禦

一、機動實施ニ先ダチ各隊ハ左ノ如ク少数挺進部隊準備訓練シ旅団長ノ用ニ供シ得ル如クスルモノトス
二、追車砲車滅隊
三、戰車車滅隊
各大隊ヨリニ三名組トシテ約十名宛

任務概要

○ 右日夜主トシテ別ニ示ス区域（津霸牧港以南）ノ追車砲地帯ニ潛入シセ日夜以降敵追車砲戰車ヲ徹底的ニ破摧スルト共ニ主力ノ攻車前進停止敵追車砲地帯ヲ煙化スルモノトス

3. 後方擾乱隊

（各中隊ヨリ好一ヲ有スル三名組宛）
射撃又因攻ヲ以テ擾乱ス

① 任務ノ概要 七日夜別ニ示ス地域ノ各要點ニ進入潛伏シ
主カノ攻果前進ニ伴ヒ之ト連繫シテ敵ノ背後ヨリ射撃
又ハ肉攻ヲ以テ援ハス

二 諸隊對空必墜主義ニ徹シ特ニ九日以後ニ於テ敵機ノ跳
梁ヲ制ス

第八 情報ノ蒐集

一 機動間ニ於ケル情報ノ蒐集ハ情報放送(無線依ル)モ
主トシ重要ナル時機ニ於テハ軍・山・石・軍砲司ニ對シ情報
ヲ請求ス之ヲ為必要ナル方面ニ隨時連絡將ヲ派
遣ス

二 九日先遣隊(獨立第三大隊)後置ニ情報所ヲ開設ス
情報所主トシテ第二十四師團ト連絡シ其ノ前面ノ

敵情ヲ収集ス司令部ト連絡ハ先遣隊既屬無線ヨリ

三 爾後機動ニ於テ一部ノ情報機関ヲ更ニ推進セシムコトヲ

四 情報班ノ主力ハ司令部出發マテ現在地ニ於ケル情報蒐

集ニ任ス以テ陸特ニ陸地正面及海上ヨリスル敵ノ新企

圖ニ關スル情報ヲ重視シ第六十三師團ト緊密ニ連絡

スルモノトス

五 情報圖ヲ複製ニ方リテハ軍ニ於テ撮影セル空中字

真ノ利用ニ努ム

第七 連絡

一 機動間及機動直後ニ於ケル連絡ノ困難性ニ鑑ミ各隊ハ
予メ傳令要員ヲ多數準備シ所要ニ応ジ砲爆裏下
ト雖モ敢然トシテ各隊間特ニ旅團司令部ト間連絡

ヲ確保スルモノトス
 機動ニ先ガチ各隊ハ命令受領者(所要ノ指令ヲ附ス)
 ラ旅團司令部ニ差出シアルモノトス
 二有線連絡ハ南石文島ノ有線網ヲ完成スル如ク準備
 スルモノトス
 特ニ砲爆裏下ニ於テモ勉メテ之ヲ確保スル如ク処置ヲ
 スルモノトス
 三機動間及機動直右於ケル通信系列紙ノ如シ

第八 裝備補給

一 裝備標準
 兵 署 現有裝備
 彈 藥 步兵 〇三合戰分
 砲 兵 一基數(現在地ニ於テ準備スル基數)

燃料 自動貨車燃料タンク満量外四〇〇リ
 其他資材 爆薬特封TR資材、霰彈資材ハ成ルヘク多數
 通信器材 現有裝備
 糧 秣 携帶糧秣 甲一日分 乙二日分
 行李携行糧秣 甲乙各二日分
 調味品、一箱

衛生材料 現有裝備
 獸醫材料 馬數ニ応シ現有量ハ一箱

二 補給
 一 現在地ニ對スル補給ハ元迄ノ作戰ニ必要ナルモノ及前
 項裝備ノ為ニ必要ナルモノヲ實施ス
 二 新作戦ノ為ニ旧守備地ニ特ニ大里附近ヲ補給基

地トシテ準備スルモ作戰ノ進展ニ伴ヒ首里附近ヲ基
地トナスコトアリ

旧守備地區ニ於テ各隊準備スルキ事項左ノ
如シ

歩兵 旅団ノ予備兵器
砲兵 〇ニ合戦分

但シ砲兵彈藥ハ行動開始ト共ニ先ッ
四基数ヲ追送シ爾代ハ逐次更施ス

十五日分

但シ旧守備地區ニ於ケル在大城平良
附近旅団予備糧秣ヲ充當ス

其地資材 第一項裝備以外ノ残数

補給要領

大里附近又ハ首里附近ヲ基地(交付所)トシ輜重隊
長統制ノ下ニ各隊輸送力ヲ配當シ各隊ハ該輸
送力ニ依リ輸送ヲ更施ス

(所要ノ兵力以テ)

已輜重隊長ハ現在地ニ對シ輸送ヲ一日朝迄ニ中止シ
尔后ハ新作戰地ヘ輸送ヲ準備ス

之ヲ為ス兵站輸送部ト密ニ協定シ主力ノ行動開始
後ト共ニ先ッ砲兵彈藥ヲ重点トシテ輸送ヲ更施ス

第九 衛生

ハ行動開始迄ニ重傷患者ハ沖繩陸軍病院ヘ後送
スルモノトス

ニ作戰開始ニ於ケル傷者収療ハ努メテ各部隊衛生機

関相協力ニ任ス
衛生材料概不豫迄極内容品程度ヲ携行スル
モトス